

◆祈ってみましょう◆
 イエス様は祈りについて教えられました。人に見せるためでもなく、ことば数が多いければいいのではなく、同じことばを繰り返すのではなく、このように祈りなさいと教えられました。
 アーメンとは「その通りになりますように」、「信じます」の意味があります。

主のいのり
 天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあがめさせたまえ
 み国を来たらせたまえ
 み心の天になるごとく
 地にもなさせたまえ
 われらのにちようのかてを
 今日もあたえたまえ
 われらにつみをおかすものを
 われらがゆるすごとく
 われらのつみをゆるしたまえ
 われらをこころみにあわせず
 悪よりすぐいだしたまえ
 国と力とさかえとは
 かぎりなくなんじのものなればなり
 アーメン



名鉄河和線青山駅徒歩7分
 JR武豊線東成岩駅徒歩15分
 知多半島道路半田出口車7分



集会案内
 礼拝一部 (日)午前 7:30~8:30 二部 (日)午前 10:30~12:00
 教会学校 (日)午前 11:00~12:00 水曜礼拝 (水)午後 8:00~9:30

知多半島中央キリスト教会

牧師: 向井芳太郎 向井嗣業
 〒475-0836 半田市青山 3-28-11
 (0569)21-4855 cccc@cac-net.ne.jp



2024.7
オアアニス
 NO.411



知多半島中央キリスト教会
 半田市青山三の二八の一

ために感謝してみなさい

牧師 向井 芳太郎

いつも喜んでいなさい。
 絶えず祈りなさい。

すべての事について感謝しなさい。

ある人が言いました。人生の日々を顧みると、楽しく喜びの日々よりも、不安と悲しみの時を過ごす方が多い。又先人達のことばの中にも次のようにあります。

「人生とは重き荷を背負いて、遠き道を行くが如し。」又、「人生は荒れ狂う大海の中の小舟である。」

人が生きて行く時、平坦な道ばかりではありません。思いがけない色々な問題に遭遇することもあります。

こんな話があります。ある一人の中国での宣教師のお話です。

彼は青年時代中国でキリスト教宣教師として励んでいました。しかし、度重なる色々な問題をかかえ、中国での宣教活動に失望してしまい、とうとう、神様の恵みもわからなくなつたような悲惨な気持ちになつていたある日、片田舎の小さな教会を訪ねました。

すると、その入り口の壁に古びた一枚の額が掛けてありました。それに

「ために感謝してみなさい。」と書いてあったのです。彼はこの額を見てそこにひざまずいて、中国に来て今まで過ごしてきた中で、どんな小さな事でも感謝できる事柄を思い出して、ひとつひとつ感謝してみました。

そうしたらどうでしょう。今まで黒雲のように自分を覆っていた失望的、否定的な

悲惨な思いがすっかり取り除かれて、明るい光が差し込んで来たのです。喜びと感謝が溢れ、希望が湧いて来、それからの宣教活動への意欲も出て働きも祝福されたのです。

この宣教師のように、喜びと感謝を小さな出来事でも心からささげ常のために感謝する者となりました。

今あなたは どうでしょう。確かに色々な問題のため不安や悩みの中にあるかも知れません。しかし、今日のみことばは「いつも喜んでいなさい。……すべての事に感謝しなさい。」と呼びかけています。

『ために感謝してみなさい。』とありますように、一度告白してみませんか。そこから、あなたの人生は変えられて行くことでしょう。次の言葉もあなたの人生の助けとなります。

「今日もまた天国の一日です。ありがとうございます。答えられました。感謝します。私にはあわせです。」

